

事業計画書

事業名	にぎわい創出に貢献するイソギク植栽の試験的事业
実施場所	沼津市 門池公園
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

地域住民・団体と連携しながら、自生するイソギクの植栽を通して11～12月の開花期に見物客を呼びこむため、イソギクのもつ雑草抑制効果により、雑草対策にかかる人力・予算を軽減し、見物客増加への取り組みに振り向けるため、試験的に小面積でイソギクを植栽し、イソギクを知ってもらいイベントを開催しながら、植栽についての実験・検証を行う。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

イソギクとは茨城～静岡の海岸線に自生する海浜植物で、日本在来の固有種です。また草丈が30～40cmほどの常緑性多年草であり、一度植栽すると永年的に生育します。またイソギクは密生し、11月～12月にかけて黄色い花を一面に咲かせます。



（葉が密生している状況。植栽升内の雑草を抑制している）



（イソギク開花期 遠景）



（開花期アップ 宮城県にて取栽を受けた植樹した木を雑草から守っているイソギク。竹は植樹した木の支柱）

このイソギクは海浜植物ということもあり、もともと乾燥、高温、貧栄養、日陰、塩害などのほとんどの悪環境に適応できる強健な植物です。種を作らず、地下茎のみで繁殖するため、周辺へ飛散拡大して繁殖することはありません。また虫媒花であり、花粉が飛散しないため、花粉症などのアレルギーとなることありません。加えて今回植栽予定するのは、イソギクに特許技術である共生菌を感染させ、さらに悪環境に強く強健な緑化用植物とした「菌根イソギク」となります。

このような植物であるイソギクの大きな特性として、雑草抑制効果が挙げられます。1つは、密生することにより、地表面への日光の到達を遮断することにより雑草の生育を抑制する。もう1つは、根から分泌するアレロパシー物質（生長阻害物質）により、他の雑草の種が発芽することを抑制する発芽阻害作用を発揮し、雑草を抑制します。

このような特徴をもつイソギクを、まず地域の皆さんや公園利用者に知ってもらうため、門池公園に小面積（30㎡程度）で植栽します。植栽時に、地域住民、地域の子供たちと一緒にイソギクを植栽するイベントを企画します。イベントでは第1部としてイソギクについて知ってもらうための簡単な座学教室「身近なマジカル植物“イソギクを”を知ろう！」を門池地区センター（予定）にて開催予定です。その後、第2部で実際にイソギク植栽を行う予定です。その際に、アフターケアとして、イソギクが活着するまで、植穴周辺から雑草が出てくるので、その“雑草を1本でも2本でも気づいた人が気づいた時に抜いて下さい！”というお願い・呼びかけも行い、アフターケアについても意識付けを行います。



（植栽予定場所：門池地区センター正面左 位置図は別紙参照）

植栽後は、通年的に雑草を抑制する効果により、草刈りなどの雑草対策にかかる人力・予算の軽減を目指し、開花時には一面に咲くイソギクの花を見に来る見物客の呼び込みを目指します。ただし今年度は小面積での試験的な植栽を予定するため、まず公園利用者にイソギクに関するアンケートなどをさせてもらい、イソギクを今後どのように活用していくかのデータを集める

ことが主となります。

沼津市パークマネジメントプラン、それに基づいた門池公園でのイベント等のコミュニティビジネス化を考慮し、イソギクが本来持つ特性である雑草抑制効果による雑草対策の軽減に加えて、地域住民・コミュニティと連携しながら、将来的に「門池の桜」に並ぶ目玉とし、公園の花が途絶える11月～12月の期間に、イベント・コミュニティビジネスの1つとして“イソギクまつり”開催を視野に入れていきます。これによりパークマネジメントプランに沿った形で、地域振興、公園のにぎわい創出に貢献することを目的とします。初年度である今回は、公園利用者へのイソギクに対する意見を聞き、今後の展開方法の参考としたいと考えます。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2019年4月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 イソギクの植栽イベント(身近なマジカル植物“イソギク”を知ろう! & 植栽イベント)開催
以後、～10月	定期的なイソギクの経過観察を実施(月1回程度) 必要があれば手抜除草作業を実施
11～12月	開花状況の確認を実施 花に足を止め、写真等を撮る人の数等の調査を実施する
2020年1月	開花後の花柄状況の確認を実施 また、イソギクの被覆率70～80%に達した段階から、門池地区センター利用者を中心にイソギクについてのアンケート調査等を実施する。(予定として80%被覆時、全面被覆時、開花時、開花後)

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

初年度は、イソギクについて知ってもらうことを第1とし、植栽イベントを開催し、植栽後は試験的に植栽したイソギクに対し、アンケート調査を実施し、イソギクについての公園利用者の意見を統計解析し数値化する。開花期に花を見ていく人数、足を止めた人数、写真を撮った人数を調査し数値化する。それを踏まえ、イソギク植栽エリアの拡大、にぎわいの創出へと繋げる判断材料とする。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 アンケート調査より、イソギクへの期待度が50%以上	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 アンケート調査等による結果にてイソギクへの期待度、開花時にイソギクを見学した人数により総合的に評価する
------	---	---------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 イソギクによる景観向上、開花期の彩りによる公園利用者への良い景観空間の提供に加え、イソギクのもつ雑草抑制効果について認知してもらい、公園に対して草刈り等の雑草対策についても公園愛護会の作業軽減、草刈りに充てられてきた予算の削減に貢献し。別の用途へと振り向けることが可能とし、沼津市パークマネジメントプランの方向性とも合致します。さらに現在イソギクの苗木生産を行っているのは富士市にある福祉就労支援施設になるため、苗木の購入は施設利用者の工賃アップにも貢献できます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 イソギクの自生地である沼津市にあって、地域住民の憩いの場となっている門池公園であるが、一部エリアでは雑草等を放置している結果、景観を損ないつつあります。イソギクを活用することにより、これまで雑草によりマイナスだったものが雑草をなくすことにより0に戻すだけでなく、積極的に人の目に留まるように景観を向上させることが可能です。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 地域に根ざす在来植物であるイソギクを活用し、イソギクの特徴を活かした雑草に対するメンテナンスを軽減させることに加え、イソギクの開花期の11月～12月にイベントを想定している点。近年、河津の河津桜まつり、本栖湖の芝桜まつり、ひたち海浜公園のコキアの紅葉祭り、あしかがフラワーパークの藤まつりなど植物をメインにした祭りイベントが盛んに行われるが、イソギクをテーマにした大規模な祭りイベントはない。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについてどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。 当法人は環境や緑化を専門とする団体であり、地域との連携は不可欠であり、地域振興やにぎわい創出については地域住民・コミュニティが主体となることが重要です。当初は当法人が主体でイソギクに対応するが、将来的に徐々に主体を地域に移行し、当法人はイソギクへの技術的なサポートを行いつつ、地域コミュニティが行うパークマネジメントに参画していく。 また今後、イソギク活用のスキームは、他の公園、耕作放棄地、遊休地等でも利用が可能で、他の地域へと活動を広げることにより、活動資金を確保しつつ、自立的な活動とすることが可能と考えます。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 今年度は予算を考慮し、イソギクの植栽面積を決定しました。スケジュールは季節等の自然条件を考慮して計画をしました。また公園管理上の各種法令を遵守しながら、イソギクの植栽を実施していく予定です。調査については、これから実施者を決定する予定です。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 樹木医として仕事柄、緑に囲まれた街並みを目指しており、イソギクのようなグランドカバーを含めた全体的な緑化にたいへん関心・興味を持っています。これまで想定していなかった緑により街の景観をがらりと変えるような都市計画の一部を担ってみたいと考えている。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

今年度行っている試験的な活動の中で、イソギクという植物を地域住民、公園利用者にも知ってもらうとともに、アンケート調査などによりイソギクに対する公園利用者の意見を聞き、どのように今後進めていくのかを検討する必要があります。肯定的な意見が多い場合、門池公園内でさらに植栽エリアを広げることを検討されます。

来年度以降、イソギクを知ってもらいながらのイソギク活用のスキームは、他の公園、耕作放棄地、遊休地等でも利用が可能であると考えます。助成の継続を検討する際、他の地域へと活動を広げることにより、助成を受けて、当初の活動資金を確保しつつ、自己資金も確保するようにして、自立的な活動とすることが可能と考えます。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。